

長崎県地域づくり推進課指定管理者選定委員会 議事要旨  
(土石流被災家屋保存公園関係事項)

1. 委員会の開催状況

第1回 平成29年11月7日(火) 13時00分～15時50分

2. 審議内容

(1) 委員長の選任

- ・委員の互選により、委員長が選任された。

(2) 審査方法の決定・審査基準の策定

- ・審査方法、審査基準の審議を行い、決定された。

(3) 指定申請者ヒアリング

- ・申請者からのプレゼンテーション及び委員によるヒアリングがなされた。

(主な質問は以下のとおり)

- ・旧大野木場小学校や砂防みらい館との連携について
- ・利用者からの要望内容等について
- ・民泊利用者や修学旅行客の取り込みについて
- ・外国人観光客向けの案内板等の設置等について

(4) 審査及び採点

採点結果 別紙1のとおり

指定管理者候補者の選定及びその理由

【候補者】南島原市

【選定理由】

- ・南島原市は、災害の脅威・教訓の伝承及び火山学習の場としての活用に向けた取組について、「道の駅みずなし本陣ふかえ」等との関係施設とともに一体的な管理による効率的な運営に努めている。
- ・施設の適切な保存を行うため、安定した組織体制のもとで、施設の維持管理を行っている。
- ・これらの提案等を踏まえ、事業計画書の「管理運営の基本的な考え方」や「保存公園設置趣旨の実現」等の各項目について採点を行い、総合計で6割を超える得点を獲得し、委員全員からも指定管理者として適するとの判定を受け

たことから、委員会として、南島原市が指定管理者の候補者として適していると判断した。

**【意見】**

- ・災害の遺構として重要な役割を持っており、適切な保存に努めて欲しい。
- ・道の駅を訪れた観光客に、保存公園にも足を伸ばしてもらうための広報などの工夫が必要である。
- ・旧大野木場小学校などの周辺施設や、民泊との連携強化を図ってほしい。
- ・インバウンド対策として、外国語標記の案内板設置や外国語での音声案内なども必要である。